

# PRO-LIFE

## 胎児を守る運動

中絶に反対する運動

2000年9月 No.119

### なぜ生命を尊重するの？

ユダヤ時代からカトリックの教えでは、親愛なる神の贈り物である生命を大切にし、神の姿に似せて造られた人間の生命も尊重してきました。また私達は、イエスによってあがなわれ、共に永遠の生命を生きたと信じています。歴史的に見ても、カトリックが生命を慈しみ守ろうとしながら、発展してきたのは明らかです。教会では生命を神聖なるものとみなし、私達人間が完全支配するのではなく、神への忠誠心をもとに成り立つ賜物ととらえています。だから、汚れなき生命を直接脅かすあらゆるものに反対の意を表明するのは、その忠実な僕として私達は、以下の事項を念頭において生命を遵守していく義務があります。

一、あらゆる存在の基礎である人間の生命には、特別の価値と意味がある。

二、安楽死や自殺など、生に反する行為は阻止すべきです。安楽死は「苦しみから逃れるために、自然にあるいは故意に死に導く行為(または行為の放棄)」です。つまり、安楽死を定義づけると、誰ひとりとして許されない、どんな政治力や権威をもつても合法とみなされない、生命を脅かす行為なのです。

三、人生に苦悩はつきもので、こ

とにカトリック信者にとってはイエスがうけた罪を身をもって味わうという意味を持ちます。死の手助けをしないかぎりにおいては、他人の苦悩を和らげようとするのは善いことです。

四、人は皆、自分の命と健康をいざわり、必要ならば医学治療をうけるべきですが、どんな時も、あらゆる手を尽くした治療が必要とは言いません。それによってめざましい効果が望めず、ただ苦痛が増すだけだとしたら、生命維持のために特別な「措置」を必ずしもとらねばならない訳ではありません。

五、あらゆる手段を講じて瀕死状態の患者の延命をはかる義務はありません。「死が間近に迫っているのなら、負担になるだけの延命治療を拒否しても、通常の治療さえ滞らせなければ倫理にかなう範囲です」

六、生命を神からの賜物と見なす一方、教会では死は避けがたく、そこから永遠の生への扉が開かれると考えています。ゆえに「むやみに死に急ごうとすることなく、患者は現実を受け入れて、感情的にも精神的にも死への準備をすべきです」

七、生命に関わる決断においては、正義を尊重し、すべての人間を隣人とみなし、年齢や依存の度合い

などからくる差別を避けねばなりません。特に身障者(障害が遺伝性や染色体異常や事故が原因だろうが、心または身体が不自由だろうが、そしてどんなに重度の障害であっても)彼らはれっきとした人間で、もって生まれた神聖か

つ不可侵の権利も有しています。八、人間の尊厳と存在価値は、教会における教えの根幹をなし、同時に社会秩序の基礎となっています。特定の宗教から生まれた規律ではありませんが、人間の尊厳をひろく訴えかける全世界に通じる価値観と自負しています。

つ不可侵の権利も有しています。八、人間の尊厳と存在価値は、教会における教えの根幹をなし、同時に社会秩序の基礎となっています。特定の宗教から生まれた規律ではありませんが、人間の尊厳をひろく訴えかける全世界に通じる価値観と自負しています。

テロライフ

### 倫理的解決策の提示

アメリカ生物倫理学諮問委員会(A B A C)は、国立生物倫理学諮問委員会(N B A C)の会長であるハロルド・T・シャピロ医師に、受精、人間の胚、そして造血幹細胞の研究に関する文書の中で、「医療技術の発展、病気の治療及び苦痛の緩和の道徳的倫理的方法を研究するにあたって、すべての人間に対する生来の威厳や唯一の本質」を十分考慮するように訴えている。

「様々な専門分野を持つ医師たち、それに弁護士、哲学者、神学者からなるA B A Cは、人間の道徳的及び倫理学的治療に関して、例えばそれが未発達段階であるうと、非常に危惧していることなのである。」と役員ジョセフ・ハワード神父は言う。

「受精や造血幹細胞に関する研究において私たちが最も心配しているのは、人間の胚が単なるモノとして扱われ、実験の道具にされているということなのです。」受精は、自然法と未発達の子どもの道徳的権利を脅かすという点で非倫理的なのである。さらに、胚の内

側からとられた細胞を利用する造血幹細胞の研究は、常に生きていて人間を直接破壊することになる。」と彼は語る。

A B A Cは、N B A Cに対して受精の中止を求め、代わりに胚から取る細胞と科学的にはほとんど同じ「多くの中胚」を含むへその緒から採血したものの使用を求めた。へその緒から採血しても、個人に死を招いたり傷を負わせることは絶対にならないからである。

「へその緒に含まれる細胞の多さを考えると、筋肉や骨あるいは連結する組織細胞に発達していく多くの可能性を秘めた細胞が存在するという考えもあり得るのかもしれない。」とハワード神父は言う。

ハワード神父は、A B A Cが今後N B A Cとオープンな対話を続けていき、パーキンソン病や糖尿病、アルツハイマー症候群などの身体の異常を倫理的に治療していく手段を模索したいと語っている。

# 祖母との同居

こんにちは。私は毎年クリスマス・カードに自分の近況を書き並べるような、どこにでもいるおしゃべり好きの女性です。何年か前、私が送るクリスマス・カードには、新しいニュースが加わりました。私の家族に新しいメンバーが登場したのです。同居のため、祖母が引越してきたのです。さらに別のニュースもありました。祖母が引越して8ヶ月後には、4番目の子どもが生まれたのです。

引越して来た頃、祖母はすでに90歳でした。祖母は9年間もの間一人暮らしをしてきたのですが、その間も私は、祖母が出かけるときの手助け、食料品の調達、その他もろもろの面倒を見てきました。しかし、近頃は祖母も転びやすくなったり、手伝いをするにももつと近くにいる必要が出てきました。私は祖母のたった一人の孫であり、一番近い身内でもあったのでいざとなれば私の元呼び寄せるのが当然のことだったので。

私は一日中家の中で働きまわり、同時に長女の面倒も見なくてはなりません。娘のシエラは、不治の筋肉の病気に侵されて車椅子の生活を余儀なくされています。祖母がやって来たとき、シエラは

高校生でした。そのときの末っ子は、まだ幼稚園に通っていました。

私たちはガレージを取り壊して、祖母のために大きな部屋を増築しました。祖母専用の玄関も別に作りました。祖母は耳も遠いし早く動くこともできませんが、まだまだ気はしつかりしたもので、財政面でも社会生活の面でも、自分の面倒は見られるし、簡単な食事も作ることができました。私たちが家族も、なるべく一人でやるように祖母を励ました。

私たち家族の選択は、どこか家族でも受け入れるものではないかもしれませんが、でも私たちにしてみれば、これが正しい選択だったのです。年寄りがいれば、我慢も必要だし不便なことも出てくるでしょう。ほかの人が同じような選択を強いられたなら、きつとこのようなことがブレイキになるのかもしれない。しかし、いい面もあるのです。笑い、思いやり、そして悲しみ。

## 妥協すること

大家族で小さな子どももいれば、祖母が完全なブライバシーを保つのは難しいでしょう。何か頼みこ

とをしても、すぐには聞いてもらえないこともあります。でも、祖母が我慢することを覚えたのと同時に、私たち家族も祖母からときおり聞かされる不満を見逃すことができるようになりました。

祖母は自分で簡単な朝食と昼食を作りました。私は、夕食だけ用意すればよかったです。祖母は私がか用意したものは何でも文句を言わずに食べるし、私もなるべく祖母の好物を作るように努めました。祖母がテレビを見ている間に出す作りたての熱々のものなど、特に喜んでくれました。

努めて妥協する姿勢が、いらいらと歯ぎしりしながらの生活とはかけ離れた、家族のハーモニーを生むのです。ただし、妥協しても、多少の不便さに対する覚悟は必要です。

## 不便なこと

突然加わった年配の家族との生活に、子どもも順応しなくてはなりません。一番上の男の子は、祖母の洗濯かごをチェックして、祖母の手元に常に清潔な衣類があるように管理する係りです。

二番目の男の子は、ごみ箱がいっぱいになってないかどうかと、食器が洗われて祖母のところに戻されているかどうかのチェック係りです。一番下の5歳は、祖母を楽しませる係りで、抱き着き係りでもあります。

少し遠くに出かけるだけでも、その前に祖母の食事、お使い、薬や病院などの用事を事前に手回しておかなくてはならなくなりました。ただでさえオーバークラス味だった上に、また用事が増えましたが、夫もときには手伝ってくれは確かです。

しかし、簡単な人生なんてありません。このくらいの不便さはちようどいいくらいではないでしょう。か、むしろ、他人のことを考えなければならぬということ、自分勝手になりすぎないようにしてくれているのです。神が与えてくださった、自己犠牲の試練がもたせません。

妥協しなくてはならず、不便を感じつつも、笑う余裕は持たなくてはいいけません。

## 笑うこと

祖母にはユーモアのセンスがあり、笑うのも大好きでした。うちにやってきた友人は、祖母が何か頼みごとがあるときに、自分の電話から電話をかけてくるのを面白がっていました。

ユーモアは、不平や自己憐憫を吹き飛ばすいい薬です。92歳のある日、祖母が落ち込んでいたときに、私のようなやっかい者は老人ホームにでも入れたらどうかというようなことを言ったことがありますが、私は静かに言いました。「お

ばあちゃん。老人ホームは、年寄りしか入れないのよ。」これを聞いた祖母の自己憐憫の感情は吹き飛んだようです。

## 思いやり

作家のマジョリー・ホームスは、近年の世代間の離別を嘆いています。彼女の家では、祖父母が家族として家にいることで、家族のつながりが強まるそうです。祖母は自分たちが大事にされていることを十分わかっているそうです。同じことが私の家族にも言えます。

祖母はいつでもクッキーの缶をいっぱいしておいて、子どもや子ども達の友達に気前よく振るまいました。一番のちびは、祖母の大好きなお気に入りでした。この末っ子にとっては、生まれてからというものの祖母が家にいるのが当たり前だったからでもあります。

祖母はみんなの誕生日をよく覚えていて、いつも数ドル添えたカードをくれました。祝日には、ちょっとした贈り物やキャンディーを忘れませんでした。私たちは代わりに、祖母の誕生日を盛大に祝ったものです。たれ幕や風船で部屋を飾り立て、カードもそれぞれ用意し、祖母の知り合いにはケーキを食べるように声をかけたものです。祖母は、子どももの

# かわいい痴呆老人

「はい、分かりました。エマをレディースクラブの誕生パーティーに連れて行きます。午後二時半までに支度するように彼女に伝えて下さい。」私には、エマがすぐに支度を始めても、その理由を忘れてしまうことはわかっていました。

私は手荒く受話器を置きました。スコツツ老人ホームの寮母は私の声のいらだちに気づいたでしょう。そこでなければよいのですが、その日の私の予定にはエマを誕生パーティーに連れて行くことは含まれていなかったのです。最近彼女のために私は多くの時間を割いていて、前日にも医者との予約があつて私がそこに行つていたことを彼女は忘れてしまつていたので、腹を立てたくはなかったのですが、そのことで私はいららしてしていたのです。

私は、実際には彼女に対する責任はなかつたのです。彼女は私の母の友人でした。母はもう亡くなりましたが、エマは私が母の代わりをすると思つていました。

毎月、老人ホームのお年寄りが誕生日のお祝いをしてもらつていました。確かエマは今度90歳の誕生日を迎えると思ひます。今では痴呆と物忘れが彼女の変らぬ友となつていました。手で煙をつか

まえていられるくらいの時間しか、ものを覚えていることができなかつたのです。しかしながら、「背骨に少しリウマチの症状」がある以外は体調は良好でした。

二時半、エマは眠つていました。でも、よそ行きの服に着替えて眠つていました。そして頬には真っ赤なルージュが少し塗つてありました。私が彼女の腕にそつと触れると、彼女は目を醒まししました。

「今日はお医者さんに行く日なの？」と彼女は尋ねました。

「いいえ、エマ、あなたの誕生日なのよ。誕生パーティーに行くのよ。」

私は彼女の頬のルージュを少しのばして、頭の後ろで小さく束ねてある白髪にブラシをかけてやりました。彼女はナイトテーブルのあたりを手探りして、やっと眼鏡を見つめました。ぶ厚いメガネをかける時、彼女の茶色の目は、渦を巻いている水たまりの底の大きいビー玉のように見えました。彼女は鏡に顔を近づけて髪の毛の片方をな

でつけました。「おかしくない？」「素敵よ。」

私は、彼女が小さな黒のハンドバッグを捜している間、いらいら

しないようにして待ちました。それを見つけると、彼女はハンカチとキーと、眼鏡の上につけるサングラスと、もしもの時のために補聴器の予備の電池を入れました。杖を持つて、背中をピンと伸ばして、ドアの方へ得意げに歩いて行きました。彼女はただ出かけられるだけで嬉しかったのです。

もう一度、彼女は「今日はお医者さんの日なの？」と尋ねました。「今日、あなたの誕生日なのよ。忘れたの？」

パーティーには、その月に誕生日を迎えた人が他に六人いました。エマのように、ろうそくが一本だけ燈つた、小さいシヨートのパーティーケーキが目に見えている間だけ、あるいは「ハッピーバースデー」の歌を聞いた時だけしか記憶がもたない人がおそろく何人かいるでしょう。なかにはお元気な人もいて、お互いに冗談を言い合つていました。二人は車椅子に乗つていました。一人の年配の女性、関節炎のため手足がとても不自由で、椅子から起き上がるのに手助けが必要でした。しかし、きょうはこの人たちが主人公であり、皆、もう一つ年をとつたのでした。

後で、エマが私にサヨナラを言ったとき、彼女は、「きょうはとっても楽しかったわ。決して忘れないわ。誰の誕生日だったのかしら。」と言いました。

これで私の仕事は終わったと思

(2ページから)

ようにわくわくして、友人の到来を待ったものです。

人生はあざなえる縄のごとしとはよく言ったものです。笑いと思いやりに満ちた幸せな生活には、悲しみもちゃんと用意されているのです。

## 悲しみ

祖母がいたころの幸せは、3年間が終わりました。祖母が亡くなる前の6ヶ月は、私たち家族にとつて悲しいことの連続でした。一九九三年七月、私たちの長女のシエラが亡くなりました。まだ19歳でした。祖母は、自分が代わりに死んだらよかつたのに、と何度も言いました。

4ヶ月後、父が亡くなりました。祖母は肉体的に、葬式に出られる状態ではありませんでした。父の死から2ヶ月後、祖母はウィルスの風邪にかかり、祖母にとつて

はこの風邪が致命的でした。

2週間もの間、祖母は食べることも、服を着ることも、お風呂に入ることもできませんでした。そしてある晩起き上がると、いつも座つていた茶色のリクライニングチェアに座り、末っ子としばし遊ぶと、「お迎えが来た」と言いました。次の日、祖母は緊急手術が必要になりました。その後まもなく、一月三十一日、93歳で祖母はこの世を去りました。

私の名前は祖母にちなんで付けられました。私も祖母のようにユーモアあふれ、人に愛されるように年を取りたい、と思ひます。若い人は年を取ることを恐ろしいと感じ、年寄りを邪魔者扱いする傾向がありますが、神を信じる人ならばこれをまつたく逆にとらえることができるはずですよ。

どのような選択をしようとも、大事な愛すべき人への尊敬は忘れないようにしましよ。祖母が引越して来て来なくても！

レイ・カークパトリック

うと嬉しくて、私は急いで車のところへ戻りました。老人ホームの隣の小さなキリスト教関係の本屋の前を走り過ぎながら、シヨウウインドーの中をちらつと見ました。私はそれまでほんの少しの間さえも止まることなく、その店の前を何度も通り過ぎていました。きょうは何か私の目に留まりました。

私は止まつて、陳列棚にある小さな飾り板の文字を読みました。「あなたたちが私の兄弟であるこれらの小さな人々の一人にしたことは、つまり私にしてくれたことである。」(マテオによる福音書 二十五：40)

私にはこの助言が必要でした。私は頭を下げて、「ありがとう」とつぶやきました。

ジェイン・ステュアート

# いのちの福音とアジア

一九九七年七月現在、韓国では面積九九〇一六平方キロメートルに四六四〇万人の人が住み、人口密度は1平方キロメートル当たり四六九人です。それと比較すると、北朝鮮の人口密度は二〇一人、中国は二八八人、香港は五三一人、日本は三三四人、モンゴルは二人です。先進58ヶ国の平均人口密度は30人で、発展途上国一三三ヶ国の平均人口密度は50人です。

人類の3分の2が環太平洋地域に住んでいます。このことは、アジアが人類の大多数の物質的な需要を満たすことに成功を収めたことを意味しています。これは素晴らしいサクセスストーリーです。例えば、インドでは、平均寿命が、第二次世界大戦直後の35才から、現在の62才へと2倍になっています。二九五人の人口密度をかかえながら、九億七千万の人間を養い、住居を与え、医療を施し、教育し、世界中に国民を送り出しています。それとは対照的に、人口密度一二人の中国では、また経済的麻痺状態に陥つたままです。

一九六五年の韓国で、一人の

女性が産む子どもの数は、平均5.5人でした。一九九七年になると、73%ダウンの1.5人になりました。北朝鮮では、一九六五年の7.7人から、一九九七年には1.9人に下がりました。置き換え水準の女性一人当たりの出生率は2.1人なので、マカオやモンゴルを除く東アジアのすべての国で、今人口が減少しています。出生率の低下は、大規模な避妊、避妊手術、中絶によるものです。それは、政府が人口調節機関に協力してきたことを意味しています。東南アジアの全ての国々の中で、韓国の中絶に関する法律が、有害性が一番少ないのです。韓国の新生児があまりにも少なくなり、出生率が低下すると、現実的な問題が生じることはすでにわかっています。労働者不足や、老齢年金を支える納税者不足、国の活力を低下させる人口の老齢化の問題が生じます。

『もう一度福音を説く時の到来』

私は一九九五年十一月初めのソウル訪問を覚えていますが、当時、経済には活気がありました。

ソウルは世界のトップクラスの都市のようでした。学生たちの間では、最高の学校へ入るための競争が熾烈でした。<sup>12</sup>

それ以降、アジアの経済は世界のこの地域に多くの不安材料をもたらししてきました。そのことによつて、人々は自分たちの優先事項を考え直すようになったと思います。この人生とは、いったい何なのか？何が本当に重要なのか？どんな方法で私たちは本当に豊かになるべきなのか？もう一度福音を説き、いのちの福音を高くかに唱える時が来たのです。

「いのちの福音」は、記録に残っている最も長い回勅です。それは4つの部分から成っています。一、今日人間のいのちを脅かすもの 二、いのちに関するキリスト教のメッセージ 三、神の神聖な掟 四、いのちの新しい文化の形成。

「いのちの福音」は、中絶反対運動の中心となつていっているものです。それはいのちに関わる問題の主要なテーマすべてを含み、カトリック教会がそれを支持しています。「いのちの福音」は、キリストのメッセージのいちばん中心にあるものです。その大原則は、全ての人間のいのちのすばらしさと計り知れない価値なのです。

一、今日人間のいのちを脅かすもの

今日、人間のいのちを新たに脅かすものがあります。例えば、中絶や安楽死などのような、以前は犯罪行為であったものが、今では法律に保護され、新しい権利として守られています。医者も、もはやいのちを守り健康を育むことに懸命ではないのです。今では客がいつでも正しいです。良心は影をひそめてしまい、多くの人々は善悪の判断ができないのです。

世の中には、いのちの文化と死の文化という2つの相反する文化があります。死の文化は、人を殺すことは、人間が抱える問題を解決する方法であると信じられています。このことは特に、発展途上国の至る所で、赤ん坊や、女性の生殖能力や、若者の生殖能力を攻撃することに何億ドルも注ぎ込んでいる人口調節機関に見ることができます。このようなことは、科学的、組織的にプログラムされたいのちへの脅威であり、いのちに対する陰謀です。これらの国際機関のなかには、USAID（アメリカ国際開発局）、IPPPF（国際家族計画連盟）、UNFPA（国連人口基金）、WHO（世界保健機関）、UNESCO（国連教育科学文化機関）、世界銀行、IBRD（国際復興開発銀行）、IMF（国際

通貨基金）などがあります。私たちは、貧しい国々の発展への道を閉ざしています。私達は出産の独断的な禁止を強制している豊かな国の身勝手さを暴かなければなりません。

世界は、国連人権宣言50周年を祝いました。しかし今は、最も重要な権利である生きる権利が否定されている時でもあるのです。私たちの世界は今、完全な矛盾を受け入れているのです。

一九九八年六月四日にローマ法王は次のように言われました。「いのちに対する権利はイデオロギーの問題でなく、単なる宗教上の権利だけでなく、最も基本的な人権なのです。『殺すな。』（脱出の書 二十：13）文明の尺度、つまり全ての文化を含む普遍的で永久的な尺度は、文明といのちとの関係なのです。無防備な者を拒絶するような文明なら、たとえ経済や科学技術や科学の分野ですばらしい成功を修めたとしても、野蛮な文明だと呼ばれて当然でしょう。多くの人々がいろいろな弱さを持ち、不貞行為を行なつてきたにもかかわらず、キリストから与えられた使命に忠実な教会は、人間の歴史にすばらしい真実の隣人を減らし、種族や民族の違いを克服し、病気の人や孤児や老人

や障害者やホームレスの世話を  
してきました。教会は言葉と行  
動で、誰もこのすばらしい人間  
の家族から押し退けられたり、  
社会の片隅に追いやられたりす  
ることはいけないとずっと教え  
てきたのでした。教会が胎児の  
いのちを護るならば、それは教  
会がまた、愛と関心を持って、出  
産予定の全ての女性を見守るこ  
となのです。」

避妊と中絶の間には、密接な  
関係があります。「中絶賛成の文  
化は、まさしく、避妊についての  
教会の教えが拒否されている所  
で特に栄えているのです。」避妊  
は、中絶の原因であって、治療で  
はないのです。

## 二、いのちに関するキリスト教 のメッセージ

たとえ、体に障害があつたり、  
知恵が遅れていたり、年をとつ  
ていたり、不治の病やエイズに  
犯されていて、いのちは常に  
善いものです。全てのいのちは  
神に由来するものなので、常に  
善いものなのです。いのちは神  
からの贈り物なのです。人間は、  
この世に神が現われた、神の存  
在の証しです。神は、すべての生  
きものの中で、人間だけを神自  
身のために創られたのです。そ  
れ故に、神はこのいのちの唯一

の主なのです。人間がいのちを  
思い通りに扱うことはできない  
のです。

いのちの神聖さは、その不可  
侵性のもとになるものです。十  
戒の5番目の戒めである「殺す  
な」(脱出の書 二十：13)は、殺  
人と、他の人も自分も傷つける  
ことを全て禁じています。この  
ことには多くの意味が含まれて  
います。私たちは自分自身を愛  
するように隣人を愛さなくては  
なりません。私たちは敵のため  
に祈らなくてはなりません。さ  
らに私たちは、敵に対して親切  
にしなければなりません。私た  
ちは、人間の誕生を、天地創造の  
継続だとみなさなければなりま  
せん。胎児のいのちは、他のいか  
なる人間のいのちと同じく神聖  
なのです。病気や年齢であつて  
も、生きるか死ぬかの選択を勝  
手にすることは誰もできないの  
です。このような決定ができる  
絶対的な支配者は神だけなので  
す。それは、「私たちが神のうち  
に生き、動き、存在するもので  
す」(使徒行録 十七：28)。人間  
の苦悩と死は、キリストが、私た  
ちのために、罪の許しと永遠の  
いのちを手に入れてくださった  
「キリストの十字架」に、その意  
味が見いだされるのです。

## 三、神の神聖な掟

人間のいのちは、神聖で侵す  
ことのできないものです。「殺す  
な」(脱出の書 二十：13)。人間  
は、絶対的な支配者や最終的な  
審判を下すものではなく、むし  
ろ神の計画を実行するものなの  
です。神だけが、いのちの支配者  
なのです。教会は伝統的に、いつ  
も変わることなく、「あなたは殺  
してはならない」という戒めの  
絶対的普遍的価値を説いてきま  
した。

この基本的な掟を再び明確に  
するために、「いのちの福音」は、  
死刑に反対しています。さらに、  
ローマ法王ヨハネ・パウロ二世  
は次のようなことを明確に述べ  
られています。「罪のない子ども  
を直接、人間の自由意志によつ  
て殺すことは、いかなるときで  
も極めて道徳に反することです。  
」中絶は、道徳的秩序を極めて  
混乱させるものです。なぜなら  
それは罪のない人間を故意に  
殺すことだからです。「安楽死  
は神の掟を著しく犯すものだと  
確信しています。」

道徳律と人間の作った法律と  
の対立に関して、「いのちの福  
音」は、道徳的相対主義や大多数  
のものによって決定された道徳  
性を認めていません。民主主義  
は、法律を道徳性に代わるもの  
にする、あるいは道徳に反する  
問題の全てを解決してくれるも  
のにしてしまうほどに偶像化さ

れることはできません。民主主  
義の価値は、民主主義によって  
具体化されたり奨励されたりす  
る価値によって、上がったたり下  
がったりするからです。

人間の良心はいのちのあらゆる  
面に適用されるものです。そ  
れは、キリスト教会の教えの通  
りに、神だけに由来する客観的  
道徳規範によるものでなければ  
なりません。人間というまさに  
その存在から生じ、人間の尊厳  
を表し、守っている本質的な人  
間的、道徳的価値、つまり、いか  
なる個人も集団も国家も、造り  
変え、破壊することができず、た  
だ認め、尊重し、奨励しなければ  
ならない価値を発見することが  
急務なのです。

中絶や安楽死を認めている法  
律は、まさにその事実によって、  
本物の道徳的拘束力のある法律  
でなくなっているのです。その  
ような法律に従う良心的義務は  
全くないのです。その反対に、良  
心に従って、そのような法律に  
反対すると明白に重要な義  
務があるのです。

## 四、いのちの新しい文化の建設

私たちは次の2つのことをす  
ることを教会と信仰によって求  
められています。それは、一、い  
のちの文化を築き上げること。  
二、死の文化を暴き、それに抵

抗することです。教会は、この世  
でのいのちと、天国での神との  
永遠のいのちについての良い知  
らせを広めることによって、こ  
の2つのことを行なっています。  
いのちの福音を広めるとき、私  
たちは、第3の千年期の準備を  
しながら、アジアへ再び福音を  
説く義務があるのです。

私たちはどのようにしていの  
ちの文化を築くのでしょうか。  
どのようにして、死の文化を暴  
き、それに抵抗するのでしょうか。  
「暴くこと」は、私たちの最  
大の武器です。私たちは中絶や、  
ポルノや、人口調節や、避妊や、  
乱交や、避妊手術の恐ろしさに  
ついて人々に警告を発します。  
そうすれば、人々は当然これら  
の悪を拒絶し、反対の意志を表  
すようになるでしょう。ほとん  
どの人が、中絶やエイズや墮胎  
の要素を含んだ避妊方法のほど  
い事実を知らないのです。私た  
ちは、彼らにこの事実を知らせ  
なければなりません。

私たちは、これらの死の文化  
をもたらすものが引き起こして  
いる実態を人々に報じること  
で、死の文化をもたらししているもの  
に抵抗することが出来ます。ほ  
とんどの市民は、自分たちの税  
金が、発展途上国の人口調節に  
どのように使われているか知ら  
ないし、人口調節の背後にある

イデオロギーを知らないのです。また、彼らは、過激な女権拡張論者や、同性愛の主唱者や、人口減らしを唱える人が、国際連合の支持を受けて何をたくらんでいるかを知らないのです。死をもたらしものに對して、公的資金を与えることはやめなければなりません。間違った主張は、真実や正しい主張によつて応酬されなければなりません。

この仕事の多くを占めているのは、教育、特に良心を確立させることです。いのちと自由、自由と真実との関係をもつて一度確立する必要があります。このことには、若者に人間の性のありかたについての真実を教えること、老人には苦しみと死についての真実を教えること、そして一般庶民には自由と真実の関係を教えることが含まれています。いのちを尊重することだけが、民主主義や平和のような、最も大切で不可欠な社会の善なるものの礎となり、それを保証するものとなることができるのです。」

ベネディクト会 マシュー・ハビジャー博士

### 差別を取り除く

私達はいつも同じことを繰り返している。他人が自分と違うという理由だけで、その人には価値がないと決めつけてしまっている。私達は、特に自分が敵意を抱いた人に不自然な差別をしようとする。彼らが自分の隣人であるという大切なことを忘れて。

新約聖書の福音書の中で、イエス・キリストは他人に對する価値観における不自然な差別を絶えず取り除こうと努力している。イエスは以下の点に關してそのような努力を惜しまなかった。

一 人種：ユダヤ人とサマリア人の対立の中で、イエスはサマリア人女性に話しかけることを惜しまず、その人々に信仰の贈り物をした。(ヨハネ福音書 4章)

#### 【プロ・ライフニュース】

[101] 1部ご注文.....無料..... + 郵送料

#### 【カラー・パンフレット】

- [201] 生か死..... + 郵送料
- [202] 第二の処女生..... + 郵送料
- [203] デート..... + 郵送料
- [204] どうするの?..... + 郵送料
- [205] "NO"という技術..... + 郵送料
- [206] ティーンの出産コントロール..... + 郵送料
- [207] パージンの瀬戸際..... + 郵送料
- [208] していましたか..... + 郵送料
- [209] 親権限と「10代の性」..... + 郵送料
- [210] 貞節のすすめ..... + 郵送料
- [211] 中絶行為は女性を解放しない..... + 郵送料

#### 【ポケット・サイズ】

- [301] 若い生命「1セット=カード+人形」.....30円 + 郵送料
- [303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン.....200円 + 郵送料
- [304] 国際プロ・ライフ・ネックレス.....500円 + 郵送料
- [305] 胎児の人権宣言カード.....30枚=100円 + 郵送料
- [306] ミニソフィアAceエース(税別).....7980円 + 郵送料

#### 【ビデオ+ 本・日本語】

- [401] 沈黙の叫び....(VHS/Beta).....7000 + 郵送料
- [403] ビリングス・メソッド....(VHS/Beta).....7000 + 郵送料
- [404] いのちーおくりもの....(VHS).....13000 + 郵送料
- [407] 命美しいもの = one&only....(VHS).....20000 + 郵送料
- [409] 聞こえる?天使の鼓動....(VHS).....6000 + 郵送料
- [410] ビル先進国・英国からの警告....(VHS).....15000 + 郵送料
- [500] (本) 生命問題に関する... (カトリックの教え)...2987 + 郵送料
- [501] (本) 自然な家族計画... (ビリングス・メソッド)...1000 + 郵送料
- [503] (本) プロ・ライフの旅.....300 + 郵送料
- [504] (本) 小さな鼓動のメッセージ.....1200 + 郵送料
- [505] (本) いのちをみつめて.....500 + 郵送料
- [506] (本) 命あるすべてのものに(マザー・テレサ).....650 + 郵送料
- [507] (本) 私の生命を奪わないで.....2300 + 郵送料
- [508] (本) いのちの福音.....1500 + 郵送料
- [509] (本) 小さき生命のために.....1300 + 郵送料
- [511] (本) 赤ちゃん：最初の十ヶ月...12ページ...100 + 郵送料
- [512]本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて.....300 + 郵送料
- [513]本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント.....500 + 郵送料
- [514]本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう.....300 + 郵送料
- [515] (本) 経口避妊薬：ピル.....100 + 郵送料
- [516] (本) いのちの福音と教育.....1470 + 郵送料

二 性：イエスの社会では女性に對する扱いが平等でなかったにもかかわらず、イエスは彼女達を公平に扱った。

三 健康：イエスは病人、悪霊につかれた者の世話をなされた。(マルコ福音書一：32)

四 職業：社会では見下されていた存在の税吏ともつきあいをもち、その中の一人を使徒とさえ呼んだ。(マテオ福音書 九：9)

五 モラル：イエスは信仰者達に敵を愛し、迫害する人のために祈り、心から相手を許すようにと命じた。(マテオ福音書 五：44、十八：21、35)

六 年齢：弟子達の反対を押し切つて、イエスは子どもや幼児を歓迎し祝福した。(ルカ福音書十八：15、16)

イエス・キリストは不自然な差別が存在することを認めなかった。イエスは明確な真実をもつて差別を撤廃しようとした。誕生前の

赤ん坊に對する私達の対応もこの真実によつて判断を下されるべきものである。私達社会は彼らに對して誤つた差別をしてきた。なぜなら彼らは年が違つたので、その価値も普通の子どもとは違つたと決めつけてきたからだ。これこそイエス・キリストが福音書の中で絶えず挑戦してきた他人に對する誤つた評価に当たるのではないだろうか？

イエス・キリストに從う者達は、誕生した子どもとそうでない子どもに對する差別を撤廃するために至急取り掛からなくてはならない。肉体的な違いというのは、人々が想像する以上に少ないのである。いのちの価値には違いというものは一切存在しないはずである。

「この小さな者の一人さえあなどらないように気をつけよ。」(マテオによる福音書十八：10)

#### [511] 赤ちゃん：最初の十ヶ月の旅

#### [515] 経口避妊薬：ピル

注文：	1 - - - - 5	1部 = ¥ 100
	6 - - - - 20	1部 = ¥ 75
フルカラー	21 - - - 99	1部 = ¥ 50
	1000 - - 以上	1部 = ¥ 35

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科

パンフレット申し込は・・・			
1 ~ ~	5	1部 = 35円	自由です 組み合わせは
6 ~ ~	100	1部 = 25円	
101 ~ ~	500	1部 = 20円	
500 ~ ~	以上	1部 = 15円	

## 十代の性(4)

Q ある先生が授業中、「貞潔」という言葉を使いました。僕にとつて初めて耳にする言葉でした。一体どういう意味なのでしょう？

A 貞潔とは行為・思い・発言・すべてにおける性的自制を言います。未婚の人が誰かに愛情を示す時は節度をわきまえ、思い・発言・行為において性的興奮を誘うような態度を避け、既婚の人は配偶者のみと性交渉をもちふたりの間に他者が入り込むのを防ぎましょう。

結婚前のセックス、十代での

妊娠・中絶・レイプ等の問題のほりとんどは、若者が自分の欲望をおさえ自己制御できない事が原因です。セックスは楽しいため

にあり、自制など必要ないと思っている人が本場に多いのが現実です。セックスは快樂だけが目的でしょうか？答は明らかにNOです。もし快樂のみが目的とすれば、いつだって出来るのですよ。けれども文明社会では人間と動物、成人と未成年の性交渉は人間の尊厳を損なう恥ずべき行為として非難されます。

ではセックスの真の目的は何でしょうか？もちろん、夫婦間の性行為で、その結果次の二つが考えられます。

一、赤ちゃんができる可能性がある。

二、お互いへの愛情と信頼が育まれる。

セックスは新しい生命をつみ、夫婦間の愛を深める美しい行為、そして結婚生活の中で一組の男女が互いを完全に与え合う行為です。愛する人から大切な宝物を与えられ、それをいづくしみ尊重しながら、貞潔とはつまり、素晴らしいセックスを結婚生活のみににおいて実践することです。だから、それ以外のいかなる方法にセックスを用いようとしてもいけません。貞潔な人は、セックスを単に快樂を満たすだけの行為に低めるような事を考えた

り言ったりしないよう常に心掛けるべきです。

Q なぜ貞潔でなければならぬのでしょうか？例えばポルノ映画を観たくらいで自分が変わるわけじゃないし、問題ないと思いますが？

A ポルノ映画が影響ないと本当にそう思っているのですか？

CMや広告など、映像の力ははかり知れませんが、刺激的映像を見た後、時々その場面が頭の中で再現されたりしがちではないですか？ポルノなど反貞潔な情報は、あなたの心を興奮状態に導きます。内容も演出も、それが作り手の意図なので、その種の情報に触れ続けていると、見た通りに行動したくなるのは時間の問題です。ポルノ映画が異常な性衝動を喚起させるという裏付けは山ほどあります。身近な例で言うと、新聞をよく読むと、性犯罪についての記事が見つかるはずですよ。

悪は心から始まり、次第に行動に表れます。不注意に性への欲望を高めていると、いつか女性やセックスに対する態度が変わっていることに気づき、愕然とするでしょう。女性を性的快樂の対象としてしか見なくなってしまうかもしれません。だから、女性を蔑視し、セック

## 『ビデオ：沈黙の叫びを見た』

指をくわえたまま

こんなにも残酷に

素直な感想はとても怖かったです。指をくわえたまま、バケツに入っていた赤ちゃんが忘れられませんが、なんて残酷なんだろうと思いました。何の罪もないのに大人の都合で、中絶をして本当に悲しい出来事だと思えました。赤ちゃんにとって、最も安心できるはずの場所のお母さんのお腹の中が一瞬にして恐怖の場所となり、どんなに痛かったろうと思えます。

私は絶対に中絶はしたくないと思えました。今、中絶をしようかと迷っている人がいたらこの悲しい出来事を知って欲しいと思いました。

T・Mさん「高三生」

スを格下げする映画・歌・本・雑誌・写真は避けるべきです。そうすれば貞潔の意義を見いだせるでしょう。貞潔な態度はあなたの人間性を高め、利己的でない本当の愛や、他人を敬う心も身につけられるでしょう。結論的には、貞潔が他人との深い真の交わりをうみ、人間としてより幸せになれるのです。

とても衝撃的だった。中絶が一日に四千件ぐらい行なわれていることも驚きだった。中絶は、尊い生命をないがしろにし、又それをした女性も傷つける。中絶は絶対にすべきではないと思った。

中絶している映像を見た時、胎児が医者が入れた棒のようなものを恐れているように、又大きく口を開けて声なき叫びを上げているのを見て、何だか悲しくなってきた。無抵抗な胎児をこんなにも残酷に殺してしまうなんて…。

世の中には「出来てしまった。」などと、子どもを望まないような言い方をしている人が、それは快樂をもとめたSEXをしたため、避妊をきちんとしなかったためではないかと思う。中絶をこの世から無くすために、一人一人が考えるべきことではないか。

H・Mさん「高三生」

# プロ・ライフ運動は慎重に

ほとんどの人は、中絶をためらうようです。私達は、この事実をおおいに利用しなくてはなりません。まず最初に、私達は、中絶は女性のため」という考えが間違いであると教えることです。

中絶が女性にとってどんなに危険かということ、中絶賛成派は言うに及ばず、一般の人々に完全に理解されて初めて、私達は胎児への理解を広めることができるのです。

このプロ・ライフ(プロ・ウーマン)と言ってもいいでしょう(運動は、この理解を広めるための単なるテスト・プランに過ぎません。これは、中絶賛成派のこれまでの道のりを逆にたどっていくためのプロセスのようなものなのです。

中絶賛成の概念は、母親の利益と胎児の利益は別のものであるという社会的見解の産物です。もし両者の利益が別のもつとされるならば、母親の権利と胎児の権利の間には必然的な対立が生まれるはずで、結果としてどちらかが勝者になるしかありません。

しかし、私達はこの理論には賛成し兼ねます。中絶を母親対子どもというあらゆる観念を排斥しなければなりません。母親と子どもの両方の立場を守るべきなのです。

私達は、母親と子どもの両者を助けることができるし、またそう努力すべきです。中絶の合法化は、女性の権利の

拡大にはなり得ません。むしろ、個人の危機という言葉で女性を操ろうとしている社会構造の計画化を目的とする人々らの利益を拡大させるだけなのです。

## 日本：

新規HIV症例およびAIDS患者数が過去最高となる

日本におけるHIV陽性者の数が一九九九年に四九一人に達し、一九九八年に比べ16%上昇となり過去最高となった。一九九六年に上昇に転じて以来この傾向は続いている。さらに、厚生省のAIDS監視委員会は、一九九九年に新たに発病したAIDS患者数は昨年より25%増加の58症例で、一九九九年現在二八九人となったと発表した。その結果、HIV感染者の数は昨年初めて10万分の1を上回り、10万人当たり1.02の症例となった。さらに、委員会によると、この数字は実際の感染者数よりも低い可能性が高いと指摘している。というのは、HIVの検査を受けた人はわずか四八二二人で、感染の可能性について医師に相談した人は一〇三二六〇人に過ぎないからである。この数字はいずれも一九九八年よりも減少している。受検者の数は減り、患者数が増えた事が懸念の理由であると、厚生省職員は言う。一九九九年末現在、日本人のHIV陽性者およびAIDS患者数は六四一四人である。

(共同通信インターナショナル 1月25日付)